

企画県土警察常任委員会資料

(平成22年3月15日)

【その他報告事項】

- 1 ロシア沿海地方における「鳥取県文化デイズ」の開催について
【交流推進課】 . . . 1ページ
- 2 鳥取県・バーモント州青少年交流事業の実施について
【交流推進課】 . . . 2ページ
- 3 鳥取県国際観光アクションプログラム（案）の概要について
【観光政策課】 . . . 3ページ

文化観光局

ロシア沿海地方における「鳥取県文化デイズ」の開催について

平成 22 年 3 月 15 日

交 流 推 進 課

鳥取県の効果的な PR および沿海地方の文化団体等との交流促進を目的として、鳥取県の各種文化関連団体による演奏会、デモンストレーション、交流会等を「鳥取県文化デイズ」として集中的に下記のとおり実施する予定です。

記

1 「鳥取県文化デイズ」について

(1) 日 時 平成 22 年 3 月 27 日 (土) ～ 29 日 (月)

(2) 場 所 ロシア沿海地方 ウラジオストク市 (3月27日 (土)、29日 (月))
ウスリースク市* (3月28日 (日))

* ウスリースク市はウラジオストクの 100km ほど北に位置し、シベリア鉄道と中国からの鉄道、北朝鮮からの鉄道が合流・分岐する交通・交易の要衝。人口約 16 万人のロシア沿海地方第 3 の都市。

(3) 派遣団 和楽器&洋楽器演奏団 (箏てまり会等の 8 名)
華道団 (鳥取華道連合会および米子美術插花連盟の 6 名)
因州和紙ちぎり絵団 (ひおき夢おり工房の 2 名)

2 事業日程

○ 3 月 27 日 (土)

13:00 「鳥取文化デイズ」開会式 (於: アルセーニエフ博物館)

15:00 鳥取華道連合会による生け花デモンストレーション (於: ゴーリキー図書館)

米子美術插花連盟による生け花デモンストレーション (於: 沿海地方児童図書館)

因州和紙ちぎり絵団によるちぎり絵講習会 (於: アルセーニエフ博物館)

18:00 和楽器&洋楽器演奏団とロシア芸術アカデミーとの合同演奏会等の交流イベント

○ 3 月 28 日 (日)

11:30 各団による講習会・デモンストレーション (於: ウスリースク子ども芸術学校)

14:00 和楽器演奏団による音楽コンサート (於: ウスリースク子ども芸術学校)

19:00 文化関係者との交流会

○ 3 月 29 日 (月)

19:00 和楽器演奏団による演奏会 (於: フィラルモーニアホール)

3 その他

- ・ ロシア沿海地方住民は日本文化に対する関心が極めて高く、ロシア側文化団体 (アルセーニエフ博物館、対日友好団体等) から鳥取県による文化事業を、沿海地方において開催してほしい旨の意見が昨年 9 月の「鳥取週間」等にて寄せられていた。
- ・ 本事業は 9 月補正 (地域活性化・経済危機対策臨時交付金) のロシア沿海地方における「鳥取県ファン」育成事業により予算措置されている。

鳥取県・バーモント州青少年交流事業の実施について

平成22年3月15日
交流推進課

環境に対する深い認識と国際的視野を持った青少年の育成を図るとともに、鳥取県とバーモント州との更なる交流を促進するため、下記のとおり県内の高校生を米国バーモント州へ派遣します。

記

1 事業内容

バーモント州の民間環境交流団体 GATP 及び現地高校（ハーウッドユニオン高校、マウントアブラハム高校）が受入団体となり、ホームステイなどを通じて生きた英語に触れながら、教育、文化、生活習慣を学ぶとともに、現地の高校生とともに環境学習や交流活動を行う。

(1) 派遣期間

平成22年3月18日（木）から同月30日（火）まで

(2) 派遣人数

高校生 13名（鳥取西2名 鳥取湖陵1名 八頭2名 倉吉東1名 中央育英1名
米子東2名 湯梨浜学園2名 米子松蔭1名 鳥取敬愛1名）

鳥取環境大学生 2名

随行 6名（鳥取環境大学教授1名、県教委2名、交流推進課3名） 計 21名

※ 高校生派遣者は県内各高校に公募し選考（9校から29名の応募者あり）。

(3) 受入団体について

GATP (Green Across The Pacific) とは、世界の国々との交流を通じて文化的理解と環境に対する認識を深めることを目的としているバーモント州内の民間環境交流団体で、1997年から主に中国との青少年相互交流を行っている。この団体を通じ、同州内の高校生と交流を行う。

2 交流内容

(1) 環境に関する現場視察

同州内にある風力発電システム製造企業、地産地消で環境に配慮したレストラン、州政府、野生生物保護地域等を視察するとともに、地域の専門家との意見交換等により環境問題を様々な面から考察する。

(2) 学校交流

事前に共通テーマ「安価なエコ住宅モデルの設計」を与え、両地域の学生が二名一組のチームを作り、派遣前の意見交換や現地での学校活動、ホームステイを通して具体的なアイデアを議論し、それぞれ各組ごとに成果を発表する。

(3) 派遣前研修などの取り組み

- ・ 英語による自己紹介、米国、バーモント州などに関するディスカッション。
- ・ 英語による環境問題や鳥取県紹介のプレゼンテーション。
- ・ 鳥取環境大学による環境負荷ゼロの家造りについて講義。
- ・ インターネットを通して、両地域の参加者が、各地域の紹介や環境問題について意見交換を行う。

鳥取県国際観光アクションプログラム(案)の概要について

平成22年3月15日
観光政策課

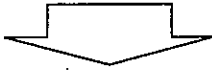
1 アクションプログラム策定に向けた取組状況

- 本年3月末の策定に向けて、専門アドバイザー、観光関係者等の意見をもとに原案を作成。
- これまでいただいた主な意見は次のとおり。
 - ・観光業界を始め、県全体として国際観光に対する理解が不十分。
 - ・外国人が喜びそうな素材は多いが、受入態勢の整備が課題。
 - ・地域住民の本質的な心の豊かさがないと外国人観光客は来ない。

2 アクションプログラム(案)の概要

【アクションプログラム策定の背景・目的】

- ・国を挙げた外客誘致活動を受けて、鳥取県においても空・海の路線及びターミナル整備を契機とした国際観光振興が望まれる。
- ・日本の人口が減少に転じ国民の旅行需要が頭打ちの状態の中で、経済成長の続く北東アジアを中心としたマーケットの誘致により観光地の活性化が期待できる。
- ・国際観光振興の取組を観光産業・地域経済活性化の起爆剤と位置づけ、県内の既存観光地・観光資源を掘り起こし磨き上げて、より強力な鳥取県観光の実現を目指す。



【アクションプログラムの目標】

《取組課題》

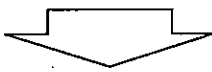
- ・観光関係者等(観光のみならず国際交流等を含む幅広い関係者)の国際観光に対する理解を深め、国際観光推進に向けた関係者間の情報共有化及び連携・協働を深める取組の推進
- ・米子ソウル便、環日本海貨客船など既存の国際交通インフラを活用した海外からの誘客の推進
- ・外国人観光客の受入態勢整備の推進

《取組期間》

- ・平成22年度～24年度(3年間)

《数値目標》

- ・米子ソウル便の外国人利用者数 H21年: 9,940人 → H24年: 18,000人
- ・環日本海貨客船の外国人利用者数 H21年: 13,809人(H21.6.30～) → H24年: 30,000人
- ・県内の外国人延べ宿泊者数 H20年: 14,890人(全国46位) → H24年: 42,000人(全国30位代)



【行動計画(主なもの)】

取組課題	平成22年度	平成23年度	平成24年度
国際観光推進の気運醸成、関係者の情報共有・連携・協働の推進	・観光関係者等への情報提供 ・講演会の開催	講演会、意見交換会の開催	恒常的に関係者間の情報共有、意見交換ができる仕組みづくり
米子ソウル便、環日本海貨客船などを活用した海外からの誘客の推進	・韓国の新たな顧客(FIT、MICE)の掘り起こし ・新たな観光素材の掘り起こし	韓国向け旅行商品、情報発信の充実	韓国の鳥取ファン、リピーターづくり
新規市場の開拓(韓国以外)	・情報収集、市場調査の実施 ・観光素材の掘り起こし ・海外、市場への情報発信	・旅行商品の造成、販売促進 ・情報発信の充実	持続的に諸外国から観光客誘致を行うための仕組みづくり
外国人観光客受入態勢整備の推進	・主要施設の案内表記等改善 ・もてなし向上研修の開催 ・来訪客意識調査の実施	・各施設の案内表記等改善、もてなし向上 ・ガイドの育成	国際観光地にふさわしい環境、基盤の整備

【推進体制】

- ・鳥取県国際観光アクションプログラム推進協議会(仮称)
アクションプログラムの進捗管理や事業推進を行うため、県が中心になって設立、運営。
- ・国際観光地域協議会(仮称)
市町村等の地域単位での自発的な取組を進めるため、観光関係者等が任意に設立。(県がサポート)